



睦水

第 11 号

発行日
平成23年 2月28日

編集・発行所
宮城県気仙沼向洋高等学校同窓会
宮城県気仙沼市波路上瀬向9の1
電話(0226)27-2311



今年と同窓会発足百周年

同窓会長 熊谷 幹夫

向春の候、同窓会会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

今年二〇一一年は母校創立百周年、そして同窓会発足百周年の年にあたります。一九一一年、明治四十四年に先人同窓生、先輩の方々の熱い想いで発足した同窓会が今日まで脈々と受け継がれて来た歴史と伝統を感じる時身の引き締まる思いにより一層の会員相互の親睦を図り、そして母校に対して帰属意識を高め未来へ羽搏く後輩のバックアップ態勢づくりをとの思いを強くする次第です。

今春学窓を巣立ち各々の道へ船出する新しい同窓生諸君も先輩同窓生の後ろ姿を追いつつ今日まで慈しみ



さらに固める

校長 川相 秀樹

階上のこの地に校舎が建設されて三十四年が経過し、自然損耗している校舎全体の大規模改修工事が行われています。二年以上かけて実施しておりますので、平成二十四年五月頃には内装・外観共に一新して若返ります。

明治三十四年(一九〇一年)、今の気仙沼郵便局の場所に町立水産補習学校が創立されました。それから、南町、柏崎、内ノ脇、一景島と校地移転や校舎建設、所管・校名変更等を経ながら、明治から平成の激変する社会・経済の中で、県北随一の教

育てて呉れたご両親ご家族、恩師の先生方の期待に応えられる様一所懸命がんばって下さい。

同窓会百周年記念行事につきましても先輩同窓生の皆様をはじめ役員会等で検討して参りたく存じます。同窓生の皆様には今後とも御指導、御鞭撻、ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

関東、仙台、さんりく同窓会の皆様はじめふるさと気仙沼より飛翔し全国各地でご活躍されている同窓生の皆さま、そして地元気仙沼、本吉の地の各分野でご活躍されている同窓生の皆さま方の今年もご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます、睦水発刊にあたりましてのご挨拶と致します。ありがとうございます。

育的伝統を保持しつつ現在まで水産専門の実業教育を継承してきました。平成二十二年、本校にとって記憶と記録に残る年でした。特に、野球部が甲子園大会県大会予選で決勝に進出した快挙は、地域を大いに湧かせました。創立一〇〇年と併せて、生徒達にはとても良い刺激になり、学習活動・課外の活動に自覚した行動や積極的に取り組む姿勢が随所に見られるようになりました。

本校の発展を願いますと共に、本校がさらに久遠の歴史を固めることができますようにと強く念じます。



今年度は台風通過による大雨となり校庭が使えず、十数年ぶりの同窓会親睦ソフトボール大会として10月31日(日)9:00より母校体育館において行われました。同窓生と生徒、約100名が7チームに別れ、総当たりのリーグ戦を行いました。参加者はみな高校生気分での汗をいっぱい流しました。終了後は雨も上がり、穏やかに秋気清爽な一日になりました。

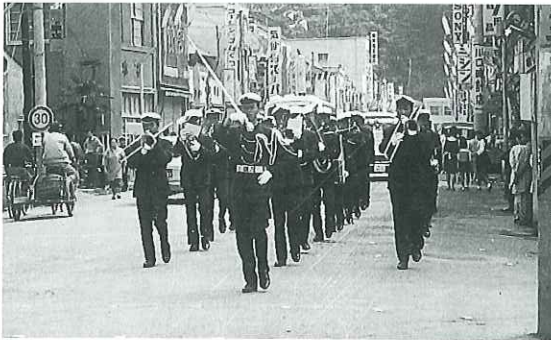
| | | | | | | |
|------|-----|----------------------------|----------------------|--------------------|-------------|------------------|
| 大会各賞 | 優勝 | 39会・43年卒合同チーム (代表 加藤元久) | 7位 | 生徒Aチーム (代表 熊谷賢人) | 大健闘賞 | 小野寺健輔 三陸マリンスズチーム |
| | 準優勝 | 三陸マリンスズチーム (代表 藤田和博) | 最優秀選手賞 | 佐藤 勝 39会・43年卒合同チーム | 佐藤則文、芳賀一郎 | 39会・43年卒合同チーム |
| | 3位 | 各年代混合Aチーム (代表 森 琢男) | ハッスルプレー賞 | 森 琢男 各年代混合Aチーム | 西城秀也、小野寺泰彦 | 各年代混合Aチーム |
| | 4位 | 生徒Bチーム (代表 日野拓洋) | 菊地 晶、藤田和博 三陸マリンスズチーム | 加藤久豊 黒船チーム | 佐藤和文 生徒Bチーム | |
| | 5位 | 黒船チーム (代表 加藤大騎) | 渡辺丈宏、渡辺あき子 黒船チーム | | | |
| | 6位 | 生徒Cチーム (代表 泉 佑貴) | 家田健人 生徒Aチーム | | | |

特別寄稿

ブラスバンドOB会

ブラスバンドOB会事務局長
S43R科卒 畠山孝行

行進曲のリズムを魅せられ、トランペットやトロンボーンを手に日夜練習に励み、吹奏楽の楽しさを知り、ある時は難しさの壁を越えられず一緒に悩んだ先輩、同級生、後輩、そんな仲間が平成二十一年十一月十四日、気仙沼ホテル観洋に集合、第一回交流会を開催しました。四十数年の時間の経過を感じさせない懐かしい思ひ話、仲間の失敗談に大笑いし、そして孫の自慢と話は尽きませんでした。全員十八名の今後の活動は気仙沼向洋高校吹奏楽部OB会「ラッパの会」を結成し会員の交流を継続することも提案了承されました。「ラッパの会」は、元部員卒業生として世代を超えて交流・親睦を図る事、向洋高校の音楽を愛する現学生の支援



▲昭和41年秋の市内パレード（市内三日町付近）

を行う事、OB会と現学生との合同演奏会を開催し地域社会と交流を深める事、チョット難しい話ですがこの三つを目標として活動を行います。

当時私は少しの興味があっただけで楽器の名称は殆どわからず、楽譜も読めませんでした。入部二カ月位経過してから一〜二曲仲間と合奏が出来たようになつたら今度は何が不満なのか練習をサボるようになりまし。しかし、野球部の応援で他校のブラスバンドのハイレベルの演奏を耳にし「同じ高校生なのに：なにくそ！」と思いつつ間と一緒に頑張る決意をしました。他校にはない手造りで譜面台を製作、市内の障害者施設を慰問、市民音楽祭、他校との交換演奏会などにも積極的に参加大変な化けようでした。チョットした事で自分の壁をこえる力がつき、自信も持てるようになりまし。吹奏楽部の活動を通して「やれば出来る何事も！」を学びまし。OB会は會員の皆さんの母校に何か恩返しをしたいと思ふ心の窓口となつて活動が続けてまいりますので同窓会諸氏のご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。



▲第1回 交流会参加者

萬治郎桜

前同窓会事務局長

菅原 悟

「潮の香りの気水高の庭によ、誰が植えたか姫子松」
気水高時代の応援歌トコホイ節にこのような一節がある。

学校の敷地内の樹木は、それぞれの時代に、それぞれの人が百年の計を考へて植えたもので、その人々の母校への熱い思いが込められているものである。波路上瀬向塩田跡、向洋高校の校庭でも、春、四月なるとそんな思いが込められた桜が満開に花開く。

校門から水路沿、野球場バックネットまで植えられ、春のときめきを東風に乗せ、ほのかな紅色に蕾ませて毎年必ず咲いてくれるこの桜は、昭和六十一年に大島在住の卒業生、故村上萬治郎氏より寄贈されたものである。

その経緯を紹介しよう。
昭和五十八年、校長就任一年目の、故武田道夫校長がふとしたことで村上萬治郎氏の書と出会う、その書体によく感動した校長は、生徒百六十名分の卒業証書の氏名書きを依頼したのであった。

村上氏は「自分の書いた書が学校・生徒のお役にたつならば」と、快く引き受けてくださった。

卒業式を無事終え、お札の筆耕料を校長から頼まれた私は、村上氏の自宅まで届けたところ、村上氏は「同窓生として当たり前な事、母校への思いからしたことなので、お金は受け取れない」と、固辞されたのであった。その翌年も翌々年も受け取っていたはず、学校は困り果て、別に粗品を贈ることにした。しかし村上氏はその事に大層恐縮され、桜の苗木二十本を寄贈しに來られたのであった。



▲平成22年春 萬治郎桜



▲満開の萬治郎桜の下で…

瑞宝単光賞

伊東文雄氏(74)



元八幡丸漁
労長伊東文雄
(S29年漁業
科卒)先輩に海
上勤務功労を

その時のことは鮮明に覚えている。四月中旬のこと、武田校長から呼び出され校長室に行くと、眼鏡をかけ、満面の笑みをうかべた村上氏がいた。椅子の傍らには麻生布に梱包された一メートル足らずの桜の苗木が置かれてあり、市内の植木販売所からタクシーに乗せ運んで来たと言っではないか。校長も私も突然の桜にただただ驚き、ありがたく頂戴した。

後日、庁務技師の菅原實・三浦利幸さんらに頼み、水捌けの悪い現在の地に盛り土をして植えて頂いたものであった。あれから四半世紀、村上氏の思いが込められた桜は、幹も大部太くなり塩害や根腐れにも負けずに、向洋高校に季節を知らせる樹木に育っている。村上萬治郎氏は昭和十四年本校水産講習所第十二回の卒業生である。三十八年間に渡り小学校教育に携わり、気仙沼市マザーズホーム所長を最後に昭和五十九年三月退職。平成六年度までの本校の卒業証書、卒業生台帳は村上氏の手によるものである。平成十九年一月八十五才で逝去された。

写真提供 三陸新報

同窓会活動報告

関東同窓会

会長 三橋 勝 郎



昨年五月十五日、総会兼内状の発送を兼ねた幹事会を開き、総会の運営について相談。

七月十日(土)正午から、千代田区九段下のホテル・グランドパレスで、二〇一〇年度総会を、母校の川相校長、同窓会本部の畠山前会長、高橋事務局長の出席のもと開催。一時からは、同ホテルで気仙沼高校関東同窓会との合同懇親会を開き、交流・親睦を深めました。また、七月十六日、同窓会本部の総会には、三橋会長が出席。

十月二十一日、二〇一一年が関東同窓会の創立35周年であることから、合同ではなく、単独での開催を計画している関係で、会場の下見を兼ね、幹事会。さらに、十一月二十六日、35周年の記念事業の取り組みについて相談するため幹事会を開催しました。

今年の総会は、六月十二日(日)午前十一時半から、第一ホテル両国で総会のあと、畠山重篤さんを講師に、35周年「記念講演会」と「祝賀懇談会」を計画し、ささやかでも記念誌の発行を予定しています。



▲平成22年度 関東同窓会総会にて

仙台同窓会

会長 中川 利 光



今年度が終わっていないため、平成十二年の同窓会活動報告をさせていただきます。

①平成二十二年四月三十日(金) 南三陸六高会代表者会議参加

(仙台サンプラザ 午後六時半)

②七月三十一日(土) 新会員交流会兼臨時総会

(朝日屋 午後六時)

③十月九日(土)平成二十二年総会

(仙台サンプラザ 午前十時～十時五十分)

④十月九日(土)南三陸六高会交流会

(仙台サンプラザ 午前十一時)

⑤十一月二十五日(木)旧南三陸六高会役員会及び南三陸ふるさと連合会役員会

(馳走亭 午後六時)

⑥十二月二十二日(木)定例役員会

(馳走亭 午後六時)

また、平成二十二年一日現在の会費納入会員数につきましては、現在次の役員会に向け事務局において集計中です。以上、ご報告申し上げます。



▲平成21年度 仙台同窓会総会にて

さんりく同窓会

会長 氏家 朝 一



さんりく同窓会は、平成十八年に誕生し、今年で五年になります。

毎年、総会、役員会を開催し、会員約百三十名中、常に出席するのは二十名前後です。今年度は役員が、経営する居酒屋において総会を行い、当時を思い出し懐かしいひとときを、過ごさせて頂きました。

会報も年一回発行しており、本年の内容は、気仙から待望の入学生、校舍改修工事、今年の同窓会夏の高校野球などで、全会員に配布しております。夏には第九十二回全国高校野球宮城大会で、我が母校が準決勝で二年連続代表を目指した東北高校に競り勝ち、初の決勝進出したことを知り、七月二十六日早朝、さんりく同窓会として三名で仙台育英高校との決勝戦の応援に行ってきました。生徒全員、父兄会、そして多くの同窓生も一丸となった応援でしたが、善戦むなしく、甲子園への夢は消え去りましたが、母校の生徒達と一緒に追いついた応援させて頂いた後輩に感謝を申し上げます。

同窓会総会は去る7月16日(金)午後6時よりサンマリン気仙沼ホテル観洋において、80名余の同窓生が参加して盛大に行われました。本年度は役員改選を行い、熊谷幹夫新会長を始め34名体制で2年間担当することになりました。懇親会は岩井崎明戸の虎舞打ち囃子保存会(代表芳賀登33年M科卒)による演舞など、大変盛り上がり旧交を温め合ったものになりました。

平成22年度 同窓会 総会

同窓会総会は去る7月16日(金)午後6時よりサンマリン気仙沼ホテル観洋において、80名余の同窓生が参加して盛大に行われました。本年度は役員改選を行い、熊谷幹夫新会長を始め34名体制で2年間担当することになりました。懇親会は岩井崎明戸の虎舞打ち囃子保存会(代表芳賀登33年M科卒)による演舞など、大変盛り上がり旧交を温め合ったものになりました。

平成21年度 事業報告

| | | |
|--------|-----------------|--------------|
| 21年 | | |
| 4月 8日 | 入学式 | 気仙沼向洋高校 |
| 24日 | 新校長歓迎会 | ホテル一景閣 |
| 6月12日 | 第1回役員会 | 中央公民館 |
| 22日 | 気仙沼高校同窓会総会 | 気仙沼ホテル観洋 |
| 7月 9日 | 校内事務局会議 | 気仙沼向洋高校 |
| 11日 | 関東同窓会総会 | ホテルグランドパレス |
| 11日 | 気仙沼高校・向洋高校合同懇親会 | ホテルグランドパレス |
| 7日 | 気仙沼向洋高校同窓会総会 | 気仙沼ホテル観洋 |
| 18日 | 気仙沼西高校同窓会総会 | 気仙沼ホテル観洋 |
| 24日 | 仙台同窓会総会 | KKRホテル仙台 |
| 8月 8日 | さんりく同窓会総会 | キャピタルホテル1000 |
| 9月25日 | 第2回役員会 | 中央公民館 |
| 10月10日 | 校内事務局会議 | 気仙沼向洋高校 |
| 11月 1日 | 同窓会親睦ソフトボール大会 | 気仙沼向洋高校 |
| 12月 1日 | 第3回役員会兼忘年会 | 泰平寿司 |
| 22年 | | |
| 1月26日 | 第4回役員会 | 気仙沼向洋高校 |
| | 「睦水」第10号発刊打合せ | |
| 2月26日 | 同窓会入会式(116名新加入) | |
| | | 気仙沼向洋高校 |
| 3月 1日 | 卒業式 | 気仙沼向洋高校 |

平成22年度 事業計画(案)

| | | |
|--------|-----------------------|---------------|
| 22年 | | |
| 4月 8日 | 入学式 | 気仙沼向洋高校 |
| 6月10日 | 第1回役員会・役員選考会議 | 中央公民館 |
| 18日 | 気仙沼高校同窓会総会 | 気仙沼ホテル観洋 |
| 7月 6日 | 第2回役員会・役員選考会議 | 中央公民館 |
| 9日 | 校内事務局会議 | 気仙沼向洋高校 |
| 10日 | 関東同窓会総会 | ホテルグランドパレス飯田橋 |
| 10日 | 気仙沼高校・向洋高校合同懇親会 | ホテルグランドパレス飯田橋 |
| 16日 | 気仙沼向洋高校同窓会総会 | 気仙沼ホテル観洋 |
| 17日 | 気仙沼西高校同窓会総会 | 気仙沼ホテル観洋 |
| 8月 8日 | さんりく同窓会総会 | |
| | | 居酒屋あらし(大船渡市内) |
| 9月28日 | 第3回役員会 | 気仙沼向洋高校 |
| 10月 9日 | 仙台同窓会総会・南三陸六校会 | |
| | | 仙台サンプラザホテル |
| 21日 | 校内事務局会議 | 気仙沼向洋高校 |
| 31日 | 同窓会親睦ソフトボール大会 | 気仙沼向洋高校 |
| 12月10日 | 第4回役員会 兼 忘年会 | 未定 |
| 23年 | | |
| 1月26日 | 「第5回役員会 気仙沼向洋高校 兼 睦水」 | |
| | 第11号発刊打合せ | |
| 2月28日 | 同窓会入会式 | 気仙沼向洋高校 |
| 3月 1日 | 卒業式 | 気仙沼向洋高校 |

学校便り

進路指導部長 小野寺 博

進路状況

進路指導部長 小野寺 博
 平成二十二年度の進路状況は、進路決定率九五・五％(卒業予定者一十一名中、一〇六名が決定、と昨年同様高い数字です。昨今の不況下の中、生徒や職員の意欲的で実践的な進路活動や進路希望達成へと繋がるような指導の成果が現れた結果、生徒は概ね希望進路を実現しようとしています。

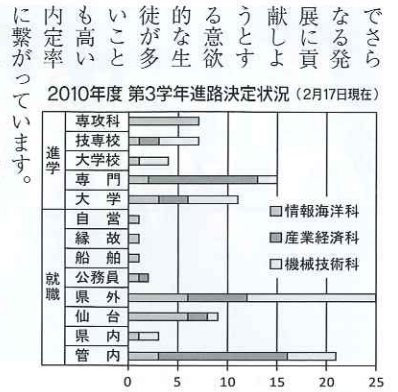
就職は、六十七名中六十三名が決定し、内定率九四・〇％。地域別人数は管内二十一名、県内・仙台十二名、県外二十五名です。今年も、県外が昨年度に比べ約一〇名多くなっています。職種については、情報海洋科は水産関連と情報通信が強く、産業経済科は食品製造やサービス関連、機械技術科は機械関連の製造・技術の職に多く内定しています。県外へ出てさらに自分に磨きをかけ、また、地元

産業経済科の実習

科長 船引裕介

昨年の秋は、猛暑の影響で記録的なサシマの不漁が報じられましたが、産業経済科ではサシマ缶詰実習を例年通り二年生と三年生で行うことができました。例年通り、今年の三年生も指示を出さなくても手際よく作業を進める姿が見られました。二年生は、一回目は若干歩留まりが悪かったものの、二回目ではその分を取り返すいい働きをしました。一日がかりで行うサシマ実習では、生徒が製造工程を学ぶだけでなく、食品を製造して販売する立場の責任と、手際よく作業を進めるために集団の中で自分が果たす役割を学ぶ機会になります。

また、昨年は株式会社齊吉商店を訪問



でさらなる発展に貢献しようとする意欲的な生徒が多いこと、高い内定率に繋がっています。進学は四三名(大学十一名、専門学校四名、大学校四名、高技専七名、専攻科七名)、昨年度に比べ、専門学校が減少し、大学と専攻科が若干増加しています。公務員は、県職員と消防士にそれぞれ一名ずつ合格者が出ました。今年度の進路希望達成については、生徒諸君は非常に高い実績を残してくれました。しかし、来年度も先行きが不透明なところですので、今後も卒業生の方々の厚いご支援をよろしくお願ひ致します。

し、HACCPによる工場の衛生管理から販売のしくみまで学ぶことができました。齊吉商店では地元の水産物を使った総菜加工を行っており、生徒達はバラエティーに富んだ商品を見て目を輝かせていました。課題研究ではホヤを使った新しい気仙沼名物を考案した生徒達があり、商品化に向けて齊吉商店のアドバイスをいただき、試食やアンケートの実施に關しても協力をいただきました。

これからのような機会を通して、生徒達が地元水産物の加工に関心を持ってくればと考えています。



▲工場での衛生管理の講義風景

野球部活動報告

監督 川村 桂史

昨夏の選手権大会では気仙沼水産高・気仙沼沼向洋高野球部の歴史を塗り替え優勝することが出来ました。指導者として、また同校OBとして本当に嬉しい年だったと思います。選手本人の努力は勿論ですが、家族をはじめ、教職員や在校生、OBや同窓会、そして地域の方々からのご支援・ご声援があつての結果だと思っております。心より感謝しております。現在は新チームとしてスタートしておりますが、昨秋は県大会初戦で敗れてしまい、悔しい思いを胸に抱き練習に励んでいるところでもあります。野球は勿論のことですが、学校生活や私生活にお



▲大声で応援する生徒・家族

いても更に応援される組織作りを力を注いでいきたいと考えている次第です。どうぞこれからも頑張りますので温かいご支援ご声援を宜しくお願いいたします。

第48回技能五輪全国大会「旋盤」選手選考会に参加して

機械技術科三年 小野寺 泰裕

私は二年生の時、ものづくりコンテストという大会に出場しました。そこで一歩というところで東北大会出場を逃しました。私は悔しいと思い、更に上位の大会でNo1を目指したいと決意し、旋盤日本一を決める技能五輪本大会への出場を目標としました。

私は、春から七月まで、県予選の練習に打ち込み、夢である本大会の最終選考会まで残ることができました。選考会には神奈川県横浜市で行われ、全国から選抜された学生が「技」を競い

合いました。私は、今まで積み重ねてきた「技」の全てを本大会という目標に向け出し切りました。結果は、本大会への出場を逃す結果となりましたが、就職した先でも技能五輪に挑んでいき、更に技を磨いていきたいです。



学生歌(岩井崎健児の歌)

作詞 松沢 修
作曲 内海 安雄

- 一、怒涛さかまく大洋の 鼎が浦の潮風に 我等は学び鍛えなん 岩井が崎にそそり立つ 古き流れの学舎は これぞ我等が気水高
- 二、広漠千里の海原は 海の男子を育みし 若き健児の進べき 理想の家ぞ故郷ぞ 君よ知らずやわたつみに ああ 豊なり海の幸
- 三、寒風すさぶ北斗海 炎熱こがす赤道に 海路の果ては遠くとも なにを恐れん たじろがん 岩井が崎に鍛えたる 吾に綱の腕あり

編集後記

同窓会会報「睦水」第11号を刊するにあたりまして一言御礼を申し上げます。ご多忙中にもかかわらず、原稿や貴重なお写真の提供などについて短期間で迅速に大変感謝申し上げます。

今年度は、役員会の総意により編集委員会を立ち上げ、新聞の在り方やその掲載内容について協議を行い発行するに至りました。今後も皆様のご支援をいただきながら育てて参りたいと考えますので、ご協力をお願いいたします。

睦水編集委員会



平成22年7月撮影